

鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会

第23回 議事録要旨

(第1部 真岡バイパス・真岡北バイパス工区)

1. 日 時: 平成21年12月25日(金) 14:30～15:35
2. 場 所: アーバンしもつけ
栃木県宇都宮市昭和3-2-8
TEL028-627-2771
3. 検討内容:
 1. 第22回検討会及び平成21年度中間報告議事録要旨確認
 2. モニタリング調査結果
 - 移植植物の経過報告
 3. 今後の工事計画(案)
 - 真岡北バイパス
 4. 今後の調査計画(案)
 - 真岡北バイパス
4. 議事要旨:
 1. 第22回検討会及び平成21年度中間報告議事録要旨
 - 了承された。
 2. モニタリング調査結果
 - 了承された。
 - 【検討委員からの意見】
 - 今後は分かりやすくするために、写真の撮影方法や掲載方法などを工夫する必要がある。
 - 今後、C地区調節池の移植地に雑草が侵入することが気になる。一気に無くなるような状況はないのか。
 - C地区調節池の築堤内と外で環境も異なるようであるし、草刈り(順応的管理)はしないとしても、モニタリングは継続するべきだろう。
 - B地区サシバの巣の位置はもう少し北側だったように思う。確認して貰いたい。
 3. 今後の工事計画(案)
 - 了承された。
 4. 今後の調査計画(案)
 - 了承された。
 - 【検討委員からの意見】
 - 繁殖状況調査の手法がわかりにくい。「6時間の定点調査のうち、2時間はビデオを設置する」というような記載の方がわかりやすい。定点観察調査及びビデオカメラ監視状況により、繁殖有無や繁殖ステージの進捗を見逃さないようにすること。
 - 引き続き、オオタカとサシバの調査では、それぞれの繁殖段階を効率よく的確に把握できるように調査を実施してもらいたい。
 - B地区北のオオタカ営巣地はオス成鳥の死亡後2年空いている。営巣環境としては悪くないので、次年度の調査も引き続き留意して貰いたい。
 - 今後、真岡BPが南に延伸されると、このままではA地区南のサシバの営巣環境が失われてしまうおそれがあるため、事前に当該サシバの保全検討を行って貰いたい。そうしてもらわないと、「真岡の自然を守る会」として事業に賛成できなくなってしまう。
 - 【まとめ】
 - 議事については基本的に了承された。
 - 再移植地の状況写真は写真の撮影方法や掲載方法などを工夫し、わかりやすく表現する。
 - オオタカとサシバの調査では、定点観察調査とビデオカメラ監視を組み合わせ、それぞれの繁殖段階を効率よく的確に把握できるように、臨機応変に調査を実施していく。
 - C地区調節池に再移植したミズトラノオとサクラオグルマは、非管理型であるため次年度の生育状況が悪化する可能性はあるものの、試験的な移植として位置づけているため、モニタリング調査を継続していく。
 - 真岡南BP区間の事業化の見通しが立った段階で当該サシバ等への影響を検討する。